

改定綱領を力に 四国から必ず議席を



3月8日、高松市丸亀町で性暴力をなくそうと訴えるフラワーデモ「サイレントスタンディング」



9日、高知市鏡でつどい。耕作放棄地でのイタドリ栽培の取り組みなどを聞く



9日、高知市のひろめ市場で吉良富彦県議、松本顕治氏とコロナ対策現地調査

近所の公園から子ども姿が消え、急な休校でどうやって過ごしているのか心配な毎日です。私は四国ブロックの「新型コロナウイルス対策責任者」の任に就き、現状をつかむ事からスタート。マスクや消毒液などの不足も深刻で、医療現場への優先的な備蓄のための供給が急がれます。

学校、物流業界団体、観光関係の団体や業者、観光地などから現状をお聞きしました。経済的な影響はすでに深刻です。こんぴらさんで有名な香川県琴平町では、観光バスが軒並みキャンセル。毎年恒例の「こんぴら大歌舞伎」も、開催が危ぶまれるとも。ホテルや飲食店、参道の土産物店も先の見えない不安にかられています。あるホテルは去年の2月は三千万円の黒字だった

が、今年は二千五百万円の赤字で、差額は五千五百万円と天地の差だ。

名勝栗林公園は閑散としていて、2月は入園者数が昨年同月比で71.3%と落ち込み、お花見時期のライトアップは中止するとのこと、3月度の激減は必至でしょう。

「昨年の消費税10%で大きな痛手のうえに、コロナの影響なので本当に大変」「持ちこたえられずにつぶれるところが出てくる」、こうした国民の不安に安倍首相は応えるべきです。リーマン・ショック以上の世界的経済危機とも言われる「異次元の大不況」には、次元の違う対策が必要です。消費税を緊急に5%に減税するなど真剣な検討が不可欠です。

よう子記
